



令和4年3月号



さくらの開花予想

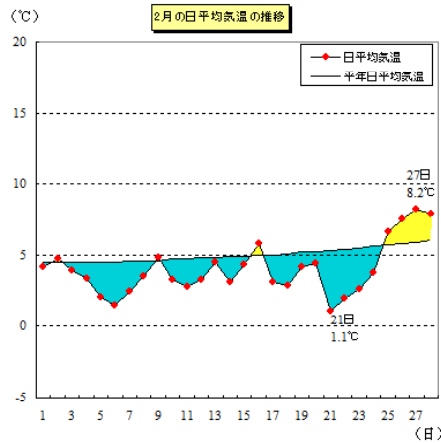
今年平和通りのソメイヨシノの開花は、3月27日、満開は4月5日頃の予想です。最近10年間の平均とほぼ同じ、記録的な早さでの開花となった昨年に比べると遅い予想です。なお、開花予想は3月11日にも発表しホームページでみる事ができますので、是非御覧ください。

最近7年間の平和通りのさくら開花と満開の日

	開花日	満開日
2021年	3月17日	3月28日
2020年	3月21日	3月30日
2019年	3月26日	4月7日
2018年	3月26日	3月29日
2017年	4月3日	4月12日
2016年	3月29日	4月8日
2015年	3月31日	4月6日

2月の気候

2月は寒気の影響により、月末に平年より高い気温となったほかは気温が低く、月平均気温は4℃と平年より低い気温となりました。中旬頃は、南岸低気圧が進むことが多く、雪や雨が降り、月合計の降水量は47.5ミリと平年の95%。上旬と下旬は晴れの日が多くなり、月合計の日照時間は183.9時間と平年より多くなりました。



1カ月予報 (気象庁発表)

3月は数日の周期で天気が変わり、中旬頃は平年より晴れの日が少ない予想です。気温ははじめ「平年並み」中旬頃は「平年より高い」、下旬にかけて「平年並みか高い」となり、降水量、日照時間はともに「ほぼ平年並み」の見込みです。

2月の雪

1月に引き続き2月も雪が多く、降った日数は5日を数えました。10日から11日にかけて、13日から14日にかけて、19日から20日にかけては南岸低気圧が通過し、10日からの雪は市街地では最大2センチの積雪。13日からの雪は、うっすらと積雪。19日からは雨となりました。10日から13日からの雪の際は、本山トンネル付近では10センチの積雪となるなど、山で量が多くなりました。いずれも南岸低気圧が原因ですが、低気圧の進む位置や、発達具合、回りに高気圧があるかなどの微妙な違いで、気温や上層の温度、降水量などが変わり、雪や雨の違い、雪になった場合でも、積もりやすい雪かどうかが変わりました。また、その前後の地面の温度の違いで、積雪となるかなど、本当に微妙な違いで、大きく影響が変わってしまいます。

16日、17日は、上層に非常に強い寒気が入ったため、雪がちらつくなど、一時的に雪が降りました。冬型の気圧配置の際は晴れの日が多いのですが、非常に強い寒気が入ってきているときは、一時的に雪が降る時もあります。

天気用語の基礎知識

洪水注意報

洪水注意報の発表には、「流域雨量指数」「表面雨量指数」「指定河川洪水予報」による基準が使われる。日立市の注意報の基準は茂宮川、小石川、十王川の各流域の流域雨量指数、表面雨量指数、久慈川神橋を対象とした指定河川洪水予報が使われ、それぞれ基準が決まっているほか、組み合わせた基準も使われており、複雑な仕組みとなっている。

神峰の山から

市役所付近にある、日立市固有の品種「日立紅寒桜」も見頃を迎え、日が延びてきたなあと春を感じられるようになってきました。昨年の2月は平年よりかなり高い気温となり冬日の日数は9日でしたが、今年の2月は平年より低い気温で、冬日の日数も2月だけで17日を数えました。ソメイヨシノの開花もそろそろですが、開花直前の気温に大きく影響されます。2017年は2月まで気温が高くなりましたが、3月が低くなったため、逆に2月まで低く、3月の気温が高かった2018年のほうが早く咲きました。気温や天気の予測と、つばみの生長と両方を予測しなければならず、いつも難しいですね。